

# 多様性を尊重し次代を主体的に切り拓く人づくり



安藤尚志教育長

## 教育行政執行方針

急激に変化する社会においては、一人一人が主体的に変化に対応し、課題を解決する力を身に付けて豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会を築いていくことが求められます。

学校教育においては、子どもたちが未来の創り手となるために必要な資質や能力を育むとともに、「社会に開かれた教育課程」の実現を図ることが重要です。

また生涯学習においては、町民の皆さんが主体的に学んで身に付けた知識・技能や経験を社会活動や社会貢献などに還元する好循環をつくり、活力ある地域の創造につなげることが重要であります。

かつて経験したことのないスピードで社会は変化している今、不易流行を視座に持ちながら、「ふるさとに誇りを持ち、多様性を尊重し、次代を主体的に切り拓く人づくり」の具現化に向けて教育行政を推進します。

### ■学校教育の充実

新しい時代に生きる子どもたちの豊かな成長を支え育む

#### 確かな学力の育成

第3期「白老町スタンダード」を基軸に、児童生徒が主体的に学ぶ授業の充実や学習支援員の配置、遠隔授業の推進など、町内全ての児童生徒に質の高い授業を提供する取り組みを実施します。また、公費による標準学力調査、漢字検定や英語検定、北海道栄高等学校の協力による白老寺子屋の開催など、児童生徒の学習意欲の向上を図ります。さらに、小中学校一貫・連携教育を強化し、義務教育9年間の切れ目のない学びを推進します。

#### 豊かな心を育む教育活動の推進

道徳教育に関する校内研修の充実などにより、「特別の教科 道徳」の授業を充実させます。「白老町いじめ防止基本方針」に従い、いじめを生まない土壌づくりに努めます。不登校対応では、教育支援センター活用やスクールソーシャルワーカー増員など、子どもを取り巻く環境の改善と心の成長を支援します。また、読書習慣の定着、キャリア教育やボランティア活動などの体験活動の充実を図ります。

#### 健やかな体の育成

各学校で体力向上プランを実施し、授業の充実や部活動の奨励、一校一実践の

体力づくりに努めます。食育の推進では、安全安心な給食を提供するとともに児童生徒の健やかな心身の育成に努めます。また、「ふるさと給食」や「リクエスト給食」、「子どもが作るお弁当の日」を実施し、ふるさとへの愛着や感謝の気持ちを育成します。さらに、がん教育や薬物乱用防止教室、フッ化物洗口、ピロリ菌検査の実施を継続し、健康教育の充実を努めます。

#### 特別支援教育の充実

「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」の作成・活用を推進し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を充実させます。

### 地域に信頼され、地域とともにある学校づくり

#### ふるさと教育の充実

地域の自然や文化・歴史を学びふるさと白老への愛着を育む「白老未来学」を推進し、発達段階や系統性を踏まえたカリキュラム作成に取り組みます。さらに、土曜授業「ふれあいふるさとDay」を年2回実施し、ふるさと白老への愛着を育みます。

#### 地域とともに育つ学校づくり

各中学校区の学校運営協議会を軸に、地域全体で子どもの学びや成長を支える体制を充実させます。また、幼保小の連携に向けた白老町版スタートカリキュラムの充実やふるさと教育を中心とした小中高の連携